

平成 16 年 5 月 20 日

各 位

会社名 玉井商船株式会社
代表者名 取締役社長 本馬 修
(コード 9 1 2 7 大証 2 部)
URL <http://www.tamaiship.co.jp>
問合せ先 取締役経理部長 平田 博司
(TEL 03 - 5472 - 7031)

連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成 16 年 3 月期(平成 15 年 4 月 1 日～平成 16 年 3 月 31 日)の連結通期業績予想については、平成 15 年 11 月 21 日の中間連結決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正いたします。
記

1. 平成 16 年 3 月期連結通期業績予想数値の修正(平成 15 年 4 月 1 日～平成 16 年 3 月 31 日)
(金額の単位:百万円)

	営業収益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	4,110	330	220
今回修正予想 (B)	4,091	447	396
増減額 (B - A)	19	117	176
増減率 (%)	0.5		
(参考)			
前期(平成 15 年 3 月期)実績	4,154	696	398

2. 修正の理由

平成 16 年 3 月期通期連結業績は、営業収益 4,110 百万円、経常損失 330 百万円、当期純損失 220 百万円と予想しておりましたが、営業収益は、外航海運業部門において、為替が想定より円高で推移したことなどで、44 百万円の減収となる見込みですが、内航海運業においては、内航タンカーの航海数増などにより 23 百万円の増収となる見込みで、全体では 19 百万円減の 4,091 百万円となる見込みです。

営業費用は、外航部門で、海運市況高騰の影響で短期用船の借船料高、燃料費高の状況のなか、円高によって一部費用が減額されたこと、また、効率配船、コスト削減努力などで、全体の運航費、船費、借船料が予想に比べ少なくなる見込みで、予想よりも合計で 65 百万円少ない 3,830 百万円となる見込みで、その結果、営業利益は 210 百万円の予想に比べ、51 百万円増加し 261 百万円となる見込みです。

ただ、営業外損益として、ドル決算の海外子会社の円建て長期借入金に係わる為替換算差損 493 百万円(今回は、期末為替レートを 110 円と想定しておりましたが、期末レートが 105.69 円と 4 円以上想定よりも円高になったため増加)を含む為替差損 535 百万円が計上される見込みで、経常損失は 117 百万円増加し 447 百万円となる見込みです。

(なお、この長期借入金に係る為替換算差損は、円建て長期借入金を有する海外子会社がドル決算をしているため、期末為替レートで換算し直すことから生じるもので、会計処理上の換算差で何ら資金流出を伴うものではありません。また、この 4 月 1 日以降、不都合を解消するため、円決算に変更しており、次期以降においては発生しない見込みです。)

また、特別利益、特別損失、法人税などを加減した結果、当期純損失は、予想に比べ 176 百万円増え 396 百万円となる見込みです。

以上